

<ベトナム・リサーチ・レポート>

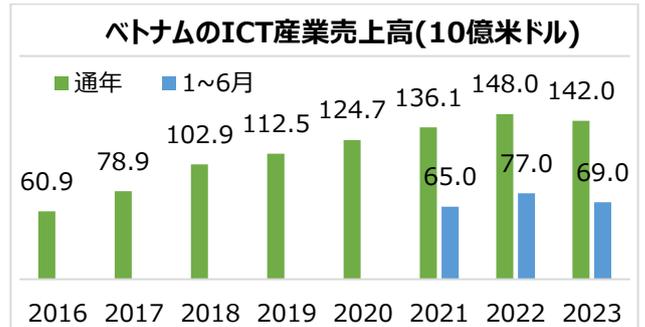
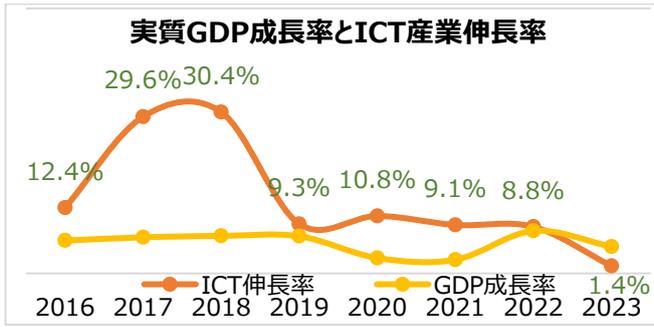
情報提供用資料

2024年06月25日

ベトナムはIT人材を育成し、高成長を遂げていく

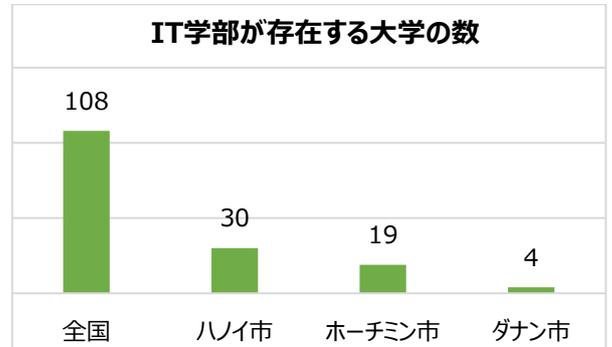
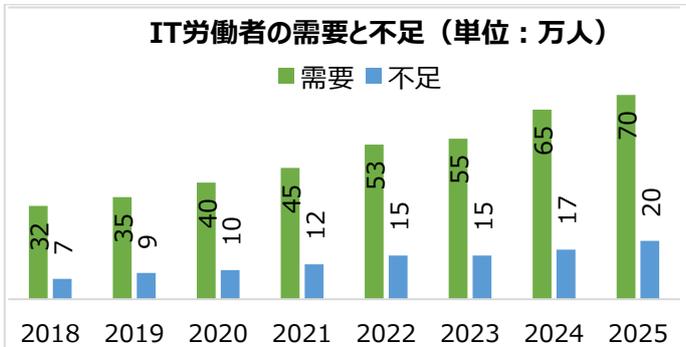
情報通信技術(ICT)産業はベトナムでの急成長産業の1つである。先進国企業からの開発受託など世界的な市場拡大に伴い、ベトナムの情報技術(IT)人材への需要が高まっている。そこで不足する技術者を補うべく育成し、供給していく仕組みがベトナムに整っていることが、ICT産業の成長を支えているといえよう。

ベトナム情報通信省(MIC)によれば2023年のICT産業総売上高は約1,420億米ドルに達した。米ドル換算で2016年実績の約2.3倍に相当する。2024年第1四半期の同売上高は前年同期比17.7%増の363億ドル近くに達し、成長が再加速している。ベトナムはカーニー(米国のコンサルティング会社)の2023年グローバルサービスロケーション指数で7位にランクされており、ソフトウェア・ITサービスを輸出する世界的なデジタルハブと位置付けられている。



出所：TopDev(ベトナムの人材採用プラットフォーム)のレポート、情報通信省データに基づきキャピタルアセットマネジメントが作成
 GDP成長率は物価上昇分を調整した実質成長率である一方、ICT伸長率は物価上昇分も含む現地通貨ベースの成長率である。
 右側のグラフでは米ドル換算値の推移を示した。現地通貨による伸長率を示した左側のグラフとは伸長率が異なっている。

TopDevのIT市場レポートによれば、2023年に技術・デジタル分野で働いているベトナム人労働者数は約53万人である。労働力は大きくなってきたが、同国の旺盛なIT人材の需要を満たすには至っていない。2025年には約20万人のソフトウェアプログラマー・ITエンジニアが不足することが予測されている。



出所：TopDev IT市場レポート

出所：CPVNが作成

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



IT 産業における人材育成はデジタル化戦略における最重点分野となっている。現在、ベトナムには IT および関連分野を教える大学が少なくとも 108 校ある。そこにはハノイ市の大学 30 校、ホーチミン市の 19 校、ダナン市の 4 校が含まれる。そして、IT 分野における一般的な副専攻はコンピューター・情報科学、ソフトウェアエンジニアリング、データ科学、サイバーセキュリティである。さらに、多くの短期大学、トレーニングセンター、コースで IT 分野の知識とスキルを教えている。子ども向けのプログラミング講座も開催されている。

IT/TECHNOLOGY を教育している主要な大学



子ども向けのプログラミングコース



画像の出所：CPVN が編集

FPT 大学や CMC 大学などの大規模な IT 専門大学は年間平均 9,000～10,000 人の学生が入学し、IT 専攻がある大学では年間 300～500 人程度の学生を受け入れている。毎年卒業する IT 分野の学生数は 6～7 万人程度となる。しかし、雇用主の要件を満たす新卒者はわずか 35%程度で、残りの学生が要件を満たすには 3～6 か月のトレーニングなどが必要といわれている。

2017 年以降、多くの大学が国際スクールや団体と協力してプログラマー・IT エンジニアの育成を行っている。FPT 大学、ハノイ工科大学などでは IT カリキュラムに日本式の要素を取り入れた学部も開設されている。

半導体チップ産業の人材育成も推進されている。ベトナムマイクロチップコミュニティによると、同国には 5,500 人を超えるチップ設計エンジニアがいる。ベトナムの半導体産業におけるエンジニアへの需要は年間 5,000～10,000 人程度であるが、要件を満たすスキルを備えた人材はその 20%以下であるという。半導体産業における人材スキルの向上を目的として、ベトナムでは下記のように多くの国際連携がなされている。

国内教育機関	海外連携先	連携内容
FPT ポリテクニク (短大)	シリコンパワー (台湾)	ベトナムで訓練を受けた半導体業界志望の学生を台湾で受け入れ、製造から製品設計、裾野産業まで約 180 の異なる職種で働く。
FPT ポリテクニク (短大)	ピアソン教育機関 (英国)	商業技術教育委員会(BTEC)半導体技術研修プログラムをベトナムに移転し、BTEC FPT という半導体研修カリキュラムを開始。
国家イノベーションセンター(NIC)	サムスン (韓国)	2024 年に NIC で約 200 人の学生を対象に 6 回のハイテクトレーニングクラスを展開。
サイゴン・ハイテクパーク(SHTP)	シーメンス (ドイツ)	シーメンスは設計ソフトウェアを提供し、集積回路/プリント基板(IC/PCB)設計担当者向けのトレーニング活動に関して協力。

出所：各機関のリリースおよび報道に基づきキャピタル アセットマネジメントが作成

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。